

常時観測火山について

現在の常時観測火山と選定の経緯、観測体制

現在の常時観測火山の選定の経緯と現状(参考資料1)

- 火山噴火予知連絡会で中長期的噴火の可能性がある、また小噴火でも社会的影響のある47火山を選定。
- 主としてマグマの動きに着目して火山の活動度を評価。
- 噴火による社会的影響は、居住地域への影響とともに、火口付近にいる登山者や観光客への影響についても考慮した。そのため、噴気活動が活発な火山も対象とした。
- 平成21年までの状況・知見で選定。その後の活動状況等の見直し、追加された火山(天頂山、雄阿寒岳)の評価は行っていない。

常時観測火山の観測体制(参考資料2)

- 気象庁は、47火山に個々の火山の活動の特徴に応じて、地震計、空振計、GNSS、傾斜計、遠望カメラなどを設置し連続監視を実施。また、連続観測を補うために現地調査を実施。
- 十勝岳、伊豆大島、桜島については、火山学的知見があり、かつ近い将来、居住地域に影響する噴火の可能性のある火山と火山噴火予知連絡会で評価されているので、より重点的に観測点を整備。

常時観測火山以外の監視体制

- 広域地震観測網で地震活動を監視。
- 定期的に基礎調査観測を実施。
- 活動に異常があった場合は、緊急的に観測を実施。

「中長期的な噴火の可能性の評価について
 - 監視・観測体制の充実等に必要な火山の選定 -」
 (平成21年6月 火山活動評価検討会)の資料について
 常時観測火山以外の火山の以後の状況を追加記載

監視・観測体制の充実等が必要な火山の選定理由取りまとめ資料

気象庁観測体制 : 連続観測(地震・地殻変動・空振・カメラ) : 連続観測(地震・地殻変動・空振) : 連続観測(地震・空振・カメラ) : 連続観測(地震) x : 連続観測無し
 緊急減災開始年度 H : 開始年度 x : 対象外
 整備必要性理由 a.最近数十年間噴火頻発 b.マグマ噴火再来間隔100年以内 b.噴火履歴(活動期) 最近観測成果(c.地震 d.地殻変動 e.熱) x : その他火山

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンケート順位		整備必要性理由	過去1万年間の噴火履歴(VEI) (VEIは産総研1万年噴火イベントデータ集による)		噴火間隔 : マグマ噴火 : 水蒸気爆発				最新噴火開始からの経過年数 : マグマ噴火 : 水蒸気爆発	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 : 活動期 x : 休止期	山体浅部地震活動 : 過去約100年間を対象 : 火山性地震多発 : 微動発生	火山性地殻変動 : 過去約10年間を対象 D : 深部ダイク貫入 S : 山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 : 過去約100年間を対象 : 沸点以上の高温噴気 : 熱泥噴出(数m以上) : 噴気高度100m以上	[参考事項] : 山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] : 山体周辺の地震活動	社会的影響 : 活動火口から500m以内の居住人口 : 10人以上 : 活動火口から1km以内 : 観光施設、観光道路あり
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差	データ数								
1	知床硫黄山	x	x	31	29	x	不明	1857-1958年 1876年 1889-1890年 1935-36年		26	14	3	:72年	不明	不明	不明	(北西山腹火口に弱い噴気)	わずかにあり	顕著な活動なし	
2	羅臼岳	x	x	37	48	x	約2200年前 約1400年前(4) 約500-700年前(3)	不明		850年	50年	2	:約500-700年	x	不明	不明	なし	わずかにあり	1964年南東側数kmで地震多発(最大M4.6)	
3	摩周	x	x	26	40	x	約10000年前(4) 約8000年前(6) 約7000年前にカルデラ形成 約1500-3500年前の間に3回 約1000年前(5)	不明	(1000年程度かもしれない)				:約1000年	不明 (過去5000年間でマグマ噴火4以上あり、活動期の可能性有り)	少ない	不明	(湖底で温泉湧出)	あり	2003年カルデラ内で地震多発(最大M3.6) 屈斜路湖周辺では時々顕著な地震活動あり	
4	アトサヌプリ	x	x	33	42	c	約5500年前 約1500-5500年前 約1500年前以降	約1500年前 数百年前					:数百年	不明	1980-88年に時々有感地震 1994年しばしば地震多発(最大M3.2)	D : 1993-1995年リシドーム付近中心に最大25cm隆起(藤原ほか、2005)	溶岩ドーム付近で噴気活動(沸点以上)	あり	屈斜路湖周辺では時々顕著な地震活動あり	
5	雌阿寒岳		H20以降	14	3	a	最新は1000-2500年前の阿寒富士の活動	700年前(ボンマチネシリ旧火口) 400年前(ボンマチネシリ赤沼火口) 1856-1955年間に10回 1955-1966年 1988年、1996年、1998年、2006年、2008年					:0年	不明	時々地震多発、微動発生	(D : 最近10年間でダイク貫入を繰り返している可能性あり、地理院)	ボンマチネシリで噴気活動(高温) 中マチネシリで噴気・熱水活動(沸点以上)	あり	南側数km撤別岳付近で時々地震多発(1985年、2000年など)	
6	丸山	x	x	54	56	x	不明	1694年以前 1898年(2)					:110年	不明	不明	不明	(第3火口に弱い噴気)	あり	1989年以降北西側または南東側でしばしば地震多発	
7	大雪山	x	x	48	33	c	約3000年前まで	約2000年以上前 約1000年前から頻発 約250年前以降に1回あり					:約250年以内	不明	時々あり(一元化または機動観測による) 1990年機動観測でT型地震数個を確認	不明	旭岳爆裂火口で噴気活動(沸点以上)	あり	顕著な活動なし	(西側山麓約600mにロープウェイ山頂駅)
8	十勝岳		H19	8	9	b	約3000年前 約1000年前 約500年前 1926年(0) 1962年(3) 1988-89年(1)	1952-59年昭和火口 1985年 2004年		31年	5年	2	:20年	不明	時々地震多発、微動発生	2007年62-2火口付近でわずかな膨張(機動観測によるGPS繰り返し観測及びInSAR)	62-2火口、大正火口で噴気活動(沸点以上)	あり	時々あり	
9	利尻山	x	x	59	68	x	2000-8000年以前	不明					:2000-8000年	x	不明	不明	なし	わずかにあり	顕著な活動なし	
10	樽前山		H19	13	15	a	約9000年前(5) 約3000年前に2回(4と5) 1667年(5) 1739年(5) 1804-17年(3) 1867年 1874年(3) 1909年	1917-55年に時々1978-79年(1)、1981年		47年	25年	5	:99年	不明 (活動期終了か?)	時々地震多発、微動発生	1999-2000年山頂部でわずかな膨張	A火口・B噴気孔群で高温継続 2003年B噴気孔で硫黄燃焼と小噴出	なし	南西側にあり	
11	恵庭岳	x	x	59	57	x	約2000年前	17世紀はじめその後150年間に2回					:約250-400年	不明	不明	不明	(山頂東側爆裂火口内に弱い噴気)	あり	1981年に地震多発(有感地震含む)	
12	倶多楽		x	48	38	e	不明	約1900年前 約200年前(1)					:約200年	x	少ない	不明	噴気・熱水活動あり 時々泥水噴出、地熱拡	なし	北西側にあり	

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンケート順位		整備必要性理由	過去1万年間の噴火履歴(VEI) (VEIは産総研1万年噴火イベントデータ集による)		噴火間隔				最新噴火開始からの経過年数	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 ・活動期 ×:休止期	山体浅部地震活動 ・過去約100年間を対象 ・火山性地震多発 ・微動発生	火山性地殻変動 ・過去約10年間を対象 D:深部ダイク貫入 S:山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 ・過去約100年間を対象 ・沸点以上の高温噴気 ・熱泥噴出(数m以上) ・噴気高度100m以上	[参考事項] ・山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] ・山体周辺の地震活動	社会的影響 ・活動火口から500m以内の居住人口 ・10人以上 ・活動火口から1km以内 ・観光施設、観光道路あり	
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差	データ数									
13	有珠山		H20以降	6	2	b	約7000~8000年前 1663年(5) 17世紀末(2) 1769年(4) 1822年(4) 1853年(4) 1910年(2) 1943-45年(1) 1977-78年(4)			35年 (1769年以降)	9年	6	:8年			(噴火活動中以外は沈降収縮のみ)	火口、貫入ドームで噴気活動(沸点以上)	あり		南側約10kmで時々あり	
14	羊蹄山	x	x	54	66	x	約1万年前	不明					:約1万年	x	不明	不明	なし	あり	顕著な活動なし		
15	二セコ	x	x	59	60	x	約6000年前	不明					:約6000年	x	不明	不明	(イワオヌプリに弱い噴気)	わずかにあり	顕著な活動なし		
16	北海道駒ヶ岳		H20以降	9	12	b	約6000年前 約5500年前 1640年(5) 1694年(4) 1856年(4) 1929年(4) 1942年(2)	1888年 1905年 1919-1924年 1937年 1996年(1) 1998年(1) 2000年に6回(1)		76年	54年	4	:65年 :8年		少ない	わずかな山体膨張が継続	(山頂火口原で弱い噴気活動)	あり		山麓に時々あり	
17	恵山		x	54	35	c	約8000年前(3) 約5000年前 約3000年前 約2500年前 約600年前	1846年 1874年(1)					:133年	不明	微小地震時々多発(機動観測による)	不明	溶岩ドーム西側爆裂火口で噴気活動(沸点以上)	なし	顕著な活動なし		
19	恐山	x	x	72	63	x	不明	不明					不明	x	不明	不明	カルデラ内に噴気、温	北側約20kmにあり	西-南西側10-20kmで		
20	岩木山	x	H20以降	45	42	?	不明	1600年、1783年、 1845年、1863年		88年	70年	3	:145年	x	不明	不明	1978年赤倉沢で噴気	なし	1970-77年、1985年に	:想定火口付近に観光道路	
21	八甲田山	x	x	51	55	x	不明	13~14世紀 15~17世紀に2回					:300年以上	x	2013年2月から7月中旬にかけて大岳山頂直下付近で火山火山性地震増加	八甲田山を囲む一部の基線で、2013年2月から11月にかけてわずかな膨張を示す地殻変動	弱い噴気あり、温泉あり	なし	1986年地震多発		
22	十和田	x	x	45	51	x	約8500年前(4) 約5400年前(5) 915年(5)	不明		3750年	650年	2	:1093年	x	2014年1月27日に中湖付近の深さ4~7kmを震源とする地震が増加	不明	なし	わずかにあり	カルデラ内に時々地震活動あり		
23	秋田焼山	x	H20以降	53	29	a	不明	1948-1949年 1951年 1957年 1997年					:11年	x	不明	不明	噴気あり	あり	北東側約5km(澁川付近)にあり		
24	八幡平	x	x	72	68	x	不明	約7000-9000年前					:約6000年	x	不明	不明	噴気あり	なし	南側でごく小規模なものが時々あり	:600mに観光道路	
25	岩手山		H20以降	16	21	c	7000年前 1686年(3) 1732年(2)	1919年					:89年	x	1995年微動発生後次第に活発化、1998年がピーク	1998年マグマ貫入による南北開口	西岩手で1999-2004年噴気増加 東岩手にも弱い噴気あり	あり	1998年南西約10kmでM6.2		
26	秋田駒ヶ岳		H19	18	18	a	1970-71年	1890年、1932年					:38年	x	少ない	不明	山頂部に地熱あり	わずかにあり	時々あり		
27	鳥海山	x	H20以降	38	40	?	871年(3) 1801-04年(2)	939年、1659-63年 1740-47年 1821年、1834					:33年	?	少ない	不明	なし	わずかにあり	時々あり (1804年象潟地震)		
28	栗駒山	x	x	35	25	d	不明	1744年 1944年					:64年	x	少ない	2004-05年山頂部でわずかな膨張の可能性(地理院、2006)	1992-93年地獄沢で噴気温度上昇(土井、2007)	あり	周辺の地震活動は活発		
29	鳴子	x	x	72	58	x	不明	5400年前以降 2000-3000年前 837年?					:1170年?	x	不明	不明	噴気あり	あり	周辺の地震活動は活発		
30	肘折	x	x	72	76	x	約1万年前	不明					:約1万年	x	不明	不明	地熱・温泉あり	わずかにあり	顕著な活動なし		
31	蔵王山	x	H20以降	42	31	c	不明	1623-1694年に時々あり 1794-1895年に時々あり 1940年					:68年	x	不明	不明	弱い噴気あり 1962年、1966年に噴気活発化	あり	周辺で時々地震多発		
32	吾妻山		H20以降	26	16	a	5000年~6000年前 1331年頃	1893-95年 1950年 1952年 1977年					:31年	x	時々地震多発、微動発生	1979-83年に大穴火口付近収縮 2003年以降大穴火口付近膨張を繰り返す	大穴火口から噴気多量	あり	顕著な活動なし	:ビジターセンター700m	

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンケート順位		整備必要性理由	噴火間隔						最新噴火開始からの経過年数	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 活動期 ×:休止期	山体浅部地震活動 ・過去約100年間を対象 ・火山性地震多発 ・微動発生	火山性地殻変動 ・過去約10年間を対象 D:深部ダイク貫入 S:山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 ・過去約100年間を対象 ・沸点以上の高温噴気 ・熱泥噴出(数m以上) ・噴気高度100m以上	[参考事項] ・山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] ・山体周辺の地震活動	社会的影響 ・活動火口から500m以内の居住人口 :100人以上 :10人以上 ・活動火口から1km以内 :観光施設、観光道
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差	データ数								
33	安達太良山		H20以降	33	27	c	約2400年前	1899-90年					:108年	×	1995-97年微動発生	1998-2001年沼ノ平火口でわずかな膨張	沼ノ平火口で1996年泥水噴出、1996-04年噴気活発化	あり	顕著な活動なし	
34	磐梯山		H20以降	35	37	c	不明	1888年					:119年	×	1988年に地震多発、2000-01年にも地震多発と微動発生	なし	カルデラ壁及び沼ノ平火口に弱い噴気あり	南西側約10kmにあり	時々地震多発	
35	沼沢	×	×	80	76	×	約5000年前	不明					:約5000年	×	不明	不明	なし	あり	南側で活発	
36	燧ヶ岳	×	×	72	63	×	約8000年前 約500年前	不明					:約500年	×	不明	不明	なし	なし	北側で活発	
37	那須岳		H20以降	26	21	a	約11000-6000年前の間に3回 約2600年前(4) 1408-10年(4)	1846年 1881年(1) 1953年 1960年微噴火 1963年小爆発	54年 (微噴火・小爆発除く)	19年	2	:55年 (1953年以來)	不明		時々地震多発	正確には不明(観測網南側に偏在)	茶臼岳西斜面で噴気活動(沸点以上)	南側約10kmにあり	活発	
38	高原山	×	×	72	76	×	約6500年前(4)	不明					:約6500年	不明	1979年微小地震活動	不明	(北側山麓富士山に弱い噴気)	南側約10kmにあり	活発	
39	日光白根山	×	×	42	46	c	5300年前以降に4回可能性あり	1649年(2) 1872-73年 1889-90年		120年	104年	2	:119年	不明	1993-95年に地震多発、微動発生	不明	なし	南側約20kmにわずかにあり	活発	
40	赤城山	×	×	59	68	×	なし	1251年?					:757年?	不明	不明	不明	なし	北東側約20kmにわずかにあり	北側にあり	
41	榛名山	×	×	48	60	×	5世紀 6世紀初頭(4) 6世紀中頃(5)	不明					:千数百年	不明	不明	不明	なし	南東側にわずかにあり	2005年~2006年北東側にあり	:400mに観光道路
42	草津白根山		H20以降	21	13	a	約7000年前 約3000年前(4)	1882年(2) 1897年 1902年(1) 1928年 1932年(1) 1937-42年(2) 1958-59年 1976年(1) 1982-83年(1)	(最近の活動期間間は26-34年、1958-59年を除外)				:25年	不明	時々地震多発、微動発生	湯釜付近でわずかな収縮(2004、総合集中観測報告)	北側噴気地帯で活発な噴気活動(沸点以上)	わずかにあり	2004年5月北西側約7kmで一時的地震多発あり	:700mにレストハウス
43	浅間山		H19	4	7	b	1108年(5) 1783年(4) 1961年まで頻繁に繰り返す 1973年(2) 2004年(1)	(近年のみ) 1965年 1982-83年(1) 1990年(0) 2003年(0)	(最近約30年間は10-20年程度)				:5年		時々地震多発、微動発生	深部へのマグマ貫入に伴う山体膨張時々あり	山頂火口で噴煙活動、火口内高温	わずかにあり	顕著な活動なし	
44	横岳	×	×	59	68	×	約800年前	不明					:約800年		不明	不明	なし	なし	顕著な活動なし	
45	新潟焼山		H20以降	20	24	a	1361年?(3) 1773年(3)	1852-54年 1949年 1962-63年 1974年(1) 1983年					:25年	×	不明	不明	山頂部に弱い噴気あり 1987-1995年には時々噴気が活発化、灰色の噴煙や雪面変色があった	南東側約15kmわずかにあり	周辺10km程度に複数力所あり	
46	妙高山	×	×	59	68	×	約5300年前(3) 約4200年前	約3000年前(カルデラ内の小爆裂火口はより最新の可能性あり)					:約3000年	×	不明	不明	南側火口原(地獄谷)に弱い噴気あり	東側数kmわずかにあり	周辺10km程度に複数力所あり	
47	弥陀ヶ原	×	×	59	60	×	数万年前にマグマ活動終了	6300-約10000年前、2950-5000年前、2450-2950年前に噴出あり 1836年(1)					:172年		不明	不明	地獄谷で活発な噴気活動、2012年6月以降、噴気の拡大、温度の上昇	東北地方太平洋沖地震以降活発化したのが、徐々に低下	時々地震多発 1990年南南東約10kmで地震地震多発	
48	焼岳	×	H20以降	32	27	a	約1.5万年前開始 最新は約2000年前(4)	1907-13年は毎年噴火 1915年(2) 1916-39年の間に時々噴火 1962-63年(2) 1995年(噴出事故?)					:46年	×	不明	1977-2002年山頂部隆起を繰り返す(名大ドライトイルト)	山頂部で噴気活動継続 山頂南西側(岩坪谷上部)で時々噴気増大	北西側数kmにあり	時々地震多発 1998年北東側5-10km(上高地付近)で顕著な地震活動	:焼岳小屋300m

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンゲート順位		整備必要性理由	噴火間隔					最新噴火開始からの経過年数	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 ・活動期 ×:休止期	山体浅部地震活動 ・過去約100年間を対象 ・火山性地震多発 ・微動発生	火山性地殻変動 ・過去約10年間を対象 D:深部ダイク貫入 S:山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 ・過去約100年間を対象 ・沸点以上の高温噴気 ・熱泥噴出(数m以上) ・噴気高度100m以上	[参考事項] ・山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] ・山体周辺の地震活動	社会的影響 ・活動火口から500m以内の居住人口 ・10人以上 ・活動火口から1km以内 ・観光施設、観光道	
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差									データ数
49	アカンダナ山	x	x	59	63	x	約1万年前	不明					:約1万年	x	不明	不明	なし	なし	時々地震多発 1998年北東側10km(上高地付近)で顕著な地震活動	
50	乗鞍岳	x	x	59	68	c	約9200年前(3) 約2000年前(3)	不明					約2000年	x	山体浅部に地震	不明	なし	北側約10kmにあり	南側で時々地震多発 1990-91年に南南西約10kmで地震地震多発	
51	御嶽山		H20以降	38	31	a	約2万年前	約6000年前以降 1979年以前までに4回 1979年(2) 1991年、2007年					:29年(ごく小規模を除く)	x	時々地震多発、微動発生 2006-07年にも地震多発と微動発生	2006-07年にダイク貫入	剣ヶ峰南西側(地獄谷から王滝頂上)に噴気あり	南東側約10数kmわずかにあり	1976年以降南東麓(王滝村付近)で顕著な地震活動が継続 1984年長野県西部地震	:火口付近に宿泊施設
52	白山		x	42	42	c	約8000年前 約2000年前 1239年(3) 1554-56年	706年、853年、859年、900年、1042年、1177年、1547-48年(何れも不確実) 1579年				429年	x	山体浅部に地震 2005年にはM4.5を含む活動(構造性と評価)	不明	地獄谷・白川谷などに弱い噴気あり	わずかにあり	時々地震多発		
53	富士山		H19	12	26	b'	約11000年前から頻繁に繰り返す 800-02年(延暦) 864-66年(貞観) 1707年(宝永)	不明					:301年		少ない 1987年山頂有感4回	なし	1897-1982年の間に山頂で噴気	北東側数kmにあり、 2000-01年に地震多発	時々地震多発	
54	箱根山	x	x	23	17	c	約7000年前(3) 約5000年前(1) 約3000年前(2)	約2800年前 約2000年前 9-12世紀の間 12世紀後半-13世紀前半 13世紀前半以降				:約750-800年	x	時々地震多発	2001年、2006年にダイク貫入	大涌谷などで活発な噴気活動を継続	北側約10kmにあり	あり		
55	伊豆東部火山群		x	15	20	c	約5000年前 約3200年前(4) 約2700年前(3) 1989年(1)	不明					:19年	x	1978-98年に顕著な活動を繰り返す 2002年以降も時々地震多発	地震活動に伴い顕著な地殻変動あり	なし	伊東市南側わずかにあり	伊豆半島内陸から伊豆大島近海にかけて時々地震多発	
56	伊豆大島		H20以降	1	4	b	5、7世紀のカルデラ形成後1777-79年までに10回大規模噴火 1912-14年(2) 1950-51年(2) 1986年(3)	マグマ後退期に頻発 最新は1990年		37年	1年	2	:22年		島内及びその周辺で時々地震多発	マグマ注入によると見られる島全体の膨張が継続	三原山中央火孔内および三原山周辺に弱い噴気あり	南東側わずかにあり	伊豆半島との間で時々地震多発	
57	利島	x	x	81	82	x	4000-8000年前	不明					:4000-8000年		不明	不明	なし	なし	時々地震多発	孤島住:800m
58	新島	x	x	29	36	d	3000年前 それ以降1回 886年	不明					:1122年	x	不明	新島-式根島間でマグマ蓄積によると見られる膨張あり	なし	東側数kmにわずかにあり	時々地震多発 1999年にも新島・神津島との間で顕著な活動	孤島住:2km
59	神津島	x	x	25	34	d	838年	不明					:1170年	x	不明	1996年以降、北東部中心でマグマ蓄積による隆起	なし	なし	時々地震多発 2000年にも新島・神津島との間で顕著な活動	孤島住:1.6km
60	三宅島		H20以降	3	5	b	1940年 1962年 1983年 2000年	2001年以降時々あり		20年	2年	3	:8年		あり	深部の膨張と火口直下浅部の収縮が継続	山頂火口で噴煙活動継続、多量の火山ガス放出	わずかにあり	噴火活動前後に周辺で地震多発あり 2000年にも新島・神津島との間で顕著な活動	孤島住:2km
61	御蔵島	x	x	81	76	x	約5400年前	不明					:約5400年	x	不明	不明	なし	なし	なし	孤島住:4km
62	八丈島		x	19	23	d	東山 約1万年前-約3700年前5回噴火 西山 約1万年前-約4000年前25回噴火 以降現在まで少な	1487年 1518年 1522年 1605-06年					:403年	x	2002年顕著な活動あり	2002年にダイク貫入	なし	なし	北西側にあり	孤島住:東山から2.2km 西山から3km

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンゲート順位		整備必要性理由	噴火間隔					最新噴火開始からの経過年数	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 ・活動期 ×:休止期	山体浅部地震活動 ・過去約100年間を対象 ・火山性地震多発 ・微動発生	火山性地殻変動 ・過去約10年間を対象 D:深部ダイク貫入 S:山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 ・過去約100年間を対象 ・沸点以上の高温噴気 ・熱泥噴出(数m以上) ・噴気高度100m以上	[参考事項] ・山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] ・山体周辺の地震活動	社会的影響 ・活動火口から500m以内の居住人口 :100人以上 :10人以上 ・活動火口から1km以内 :観光施設、観光道
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差								
63	青ヶ島	x	x	24	42	e	約3000 約2400年-約2000 年前 1785年 不明	1670年 1780-83年				222年	x	不明	不明	池の沢火口内に噴気地帯あり(1984年機動観測で沸点程度) 2007年12月阿蘇台陥没孔で熱泥噴出	不明	不明	孤島住:1.2km :600mに港 孤島住(自衛隊):1km
97	硫黄島	x	x	-	-	a		最近の主な噴火 1978年 1980年 1982年 1999年 2001年 2004年		5年	5年	6	3年	x					
77	三瓶山	x	x	59	68	x	約4500年前 約3600年前以降1回	不明				約3600年	x	不明	不明	なし	南西約10kmにわずかにあり	周辺の地震活動活発	:火口付近にスキー場
78	阿武火山群	x	x	72	76	x	約8800年前? 約3000年前?	不明				約3000年	x	不明	不明	なし	なし	顕著な活動なし	
79	鶴見岳・伽藍岳	x	H20以降	59	46	c	鶴見岳 7300年以前溶岩流出 1800年前ブルカノ式噴火	伽藍岳 千数百年前2~3回 867年				:1141年	不明	時々地震多発	不明	鶴見岳:山頂北側に噴気、1949年と1974年に一時活発化 伽藍岳:山頂部に噴気、1995年泥火山生成	あり	別府地溝帯内は地震活動活発、時々多発あり	
80	由布岳	x	x	59	51	x	約2200年前	不明				:約2200年	不明	不明	不明	なし	あり	別府地溝帯内は地震活動活発、時々多発あり	
81	九重山		H20以降	22	19	c	約5000-1700年前は主に大船山系火山が頻発 約1700年前最新は1993年	約4000年前以降度々 1995年				:13年	不明	あり	1995年噴火後、星生山付近で収縮	星生山北東側山腹に活発な噴気(沸点以上)	東側数kmわずかにあり	北西側数kmで活発	
82	阿蘇山		H20以降	2	1	a	最新は1993年	最近100年はほぼ毎年噴火を頻発				:2年	不明	地震微動活発	中岳直下の変動は特にならない 韋千里南部に収縮源	噴気活動(高温) 周辺にも噴気地帯あり(吉岡など)	あり	カルデラ内で時々地震多発	:200mにロープウェイ
83	雲仙岳		H20以降	29	39	b'	1663年 1792年 1990-95年(最初の水蒸気噴火)		164年	35年	2	:17年		少ない	現在は特にならない	山頂ドームに噴気(高温)	わずかにあり	橋湾で時々地震多発	
84	福江火山群	x	x	72	76	x	2300-2400年前(マグマ噴火?)	不明				2000-3000年	不明	不明	不明	なし	なし	顕著な活動なし	
85	霧島山		H19	16	13	a	御鉢 788年 945年? 1235年 1771-72年 韓国岳 1768年 新燃岳 1716-17年	御鉢 1880-1923年に繰り返し返す(一部はマグマ噴火) 新燃岳 1959年 1991年 2008年				:0年	不明	時々地震多発、微動発生	2006年以降新燃岳でわずかな山体膨張継続	新燃岳、御鉢で時々噴気増加	御鉢付近にあり	1968年えびの地震をはじめ、時々地震多発	
86	米丸・住吉池	x	x	59	68	x	8100年前	不明				:8100年	不明	不明	不明	なし	わずかにあり	顕著な活動なし	
88	桜島		H19	5	10	a	大噴火 764年 1471-76年 1779-82年 1914年 1946年 1955年以降南岳山頂火口で噴火継続					:0年	不明	時々地震多発、微動発生	始良カルデラ地下深部へのマグマ注入による長期的膨張傾向継続	南岳山頂火口及び昭和火口周辺で噴気、熱活動(高温)	あり	顕著な活動なし	
89	池田・山川	x	x	51	51	x	約6400年前に噴火、4800年前に鍋島岳で噴火	不明				:約4800年	不明	不明	不明	噴気あり	南西側(開闢岳方面)にあり	指宿地域で時々地震多発	
90	開闢岳	x	x	45	51	x	約4400年前に活動開始 最新は885年	不明				:1123年	不明	少ない	不明	2000年山頂部に気象条件により弱い噴気(火山活動活発化の徴候ではない)	南西側にあり	指宿地域で時々地震多発	

火山番号	火山名	気象庁観測体制	緊急減災着手年度	アンゲート順位		整備必要性理由	噴火間隔						最新噴火開始からの経過年数	VEI2以上マグマ噴火活動履歴による今後100年間程度の長期評価 ×:休止期	山体浅部地震活動 ・過去約100年間を対象 ・火山性地震多発 ・微動発生	火山性地殻変動 ・過去約10年間を対象 D:深部ダイク貫入 S:山体浅部膨張	噴気活動・熱活動 ・過去約100年間を対象 ・沸点以上の高温噴気 ・熱泥噴出(数m以上) ・噴気高度100m以上	[参考事項] ・山体付近(10km以内)の深部低周波地震	[参考事項] ・山体周辺の地震活動	社会的影響 ・活動火口から500m以内の居住人口 :100人以上 :10人以上 ・活動火口から1km以内 :観光施設、観光道
				マグマ	水蒸気		マグマ噴火()	水蒸気噴火()	噴火種類	平均間隔	標準偏差	データ数								
91	薩摩硫黄島		×	10	8	a	硫黄岳と稲倉岳は7300年前以降に誕生。最新は1934年	1998年以降小噴火が頻発。最新は2004年					:4年	不明	時々地震多発、微動発生	不明	山頂火口で噴煙活発、高温	わずかにあり	顕著な活動なし	孤島住:2.8km
92	口永良部島		×	11	6	b	3300年前以降、頻繁にマグマ噴火古岳:数百年前新岳:9~11世紀1841、1933、1966年マグマ噴火	最近の主な噴火は1914年、1931年、1933~34年、1945年、1980年	23年(最近の主な噴火で算出)	23年	6	:28年	不明	最近地震増加傾向、微動発生	時々新岳付近が膨張	新岳付近で噴気活動、最近温度上昇傾向	わずかにあり	1999-2000年に東側約10km沖合で顕著な活動あり	孤島住:2km	
93	口之島	×	×	54	66	×	数千年前以降	不明				不明	不明	不明	不明	(弱い噴気あり)	なし	東~南東沖合にあり	孤島住:3km	
94	中之島	×	×	38	49	×	数千年前以降	1914年				:94年	不明	少ない	不明	山頂火口及び南東山腹に硫気あり(沸点以上)	なし	南~南東沖合にあり	孤島住:2.1km	
95	諏訪之瀬島		×	7	10	a	1813年、1884年に大噴火1956年以降毎年噴火を頻発	不明				:0年	不明	あり	不明	御岳火口で噴煙活発	なし	周辺海域にあり	孤島住:3.5km	